

上月りょうすけニュース No.22



参議院議員上月良祐です。
日頃より大変お世話になっております。
この度三期目の当選を果たし、新たな任期がスタートしました。昨年の総選挙、今回の参院選を受け、自民党は少数与党となりましたが、内政・外交ともスピード感のある対応が必須です。国と地域の未来のためにしっかりと働いてまいります。



茨城県知事選挙

この夏は知事選挙も行われ、三期目の挑戦を目指す大井川候補の応援に入りました。

県民の声を幅広くお聞きし、果敢な決断で県政を進めていただきたいと思います。

農林部会長として

コメ価格が高騰していますが、コメは「需要に応じた生産」が基本です。無秩序な増産は厳に避けなければなりません。

また、今後十年で経営体が半減する見込みです。食料・農業・農村基本法の改正を受け、今年四月には基本計画を策定しました。今後五年間を「農業構造転換集中対策期間」と位置付け、農地の大区画化や老朽化した共同利用施設の再編、スマート農業の推進、輸出拡大などを行うため、別枠で事業費ベース2.5兆円の予算を確保し、大きく農業を転換してまいります。農林部会長として、皆さまからお聞きした声を集約し、政策に反映していきます。



新しい資本主義実行本部 物価上昇に合わせた公的制度の点検・見直し PT 事務局長に就任

2021年度の国内総生産（GDP）554.6兆円のうち、国や自治体などが関わる「公的需要」は148.5兆円と、約26%です。物価上昇の中、民間に賃上げと価格転嫁をお願いしていますが、国や自治体自身が率先しなくてはなりません。公的需要が都道府県GDPに占める割合は地方ほど高く、「官公需」は地域経済の重要な柱です。

診療報酬などの公的価格や「官公需」の予算と発注のあり方について点検、見直しを集中的に行うため、党の「新しい資本主義実行本部」のもとに「物価上昇に合わせた公的制度の点検・見直しプロジェクトチーム」が設置され、私が事務局長に就任しました。ビルメン、警備、建築設計、印刷、SS（ガソリンスタンド）、環境衛生（ごみ処理）、社食、理学療法士等々、多くの業界団体からヒアリングと意見交換を行い、提言をとりまとめ、シーリングや概算要求に反映しています。必ず成果が出るよう激しく取り組みます。



▶多くの議員が熱心に議論に参加しています



▶記者ブリーフにて



そもそも…「官公需」とは？

各省庁、独立行政法人、国立大学法人、都道府県、市町村等が物品を購入したりサービスの提供を受けたり、工事を発注したりすること。

物品の調達

制服、事務用品
防災用品など

役務の提供

庁舎の清掃・警備
システム開発など

工事の請負

道路建設、庁舎修繕、河川補修など



Youtube 番組リハックに出演し、「官公需」について議論。是非こちらの二次元バーコードを読み込みご覧ください。



官公需は多岐にわたっており、多くの分野の中小・小規模企業が入札に参加できます。しかし、予定価格を大きく下回る落札で、赤字受注を余儀なくされるケースが頻発しています。これでは最低賃金上げにもつながりません。

令和7年5月26日 石破総理に対して提言申入れを行いました



提言のポイント

- 予算・税制・公的制度の^{しきい値}閾値（基準値）の総点検と見直し
- 公定価格（医療・介護・保育・福祉等）の引上げ
- 官公需における価格転嫁の徹底

国の予算や制度を物価上昇に合わせて変えていく必要性を強調し、交通遺児への支給金や、食事補助の非課税限度額等の基準値の速やかな見直し、医療・介護・保育・福祉等公定価格の引き上げも強く求めたほか、「官公需」における予算と発注の見直しも提言しました。賃上げが促進できるよう、これら3つの課題に省庁横断で取り組んでもらっています。

官公需改革はいわば革命です。「安ければ良い」という姿勢では労働の価値は守れません。この取組みを通じ、今年4月、一定額以下の場合、随意契約を可とする「少額随意契約制度」について、約50年ぶりに基準額の引き上げも行われました。賃上げと投資の好循環、個人消費の促進に向け、デフレ時代に固定化された制度の旧弊一掃により、実質賃金のプラス化を実現してまいります。



上月りょうすけプロフィール

昭和37年生まれ／昭和62年 東京大学法学部卒・自治省入省／平成17～24年 茨城県総務部長、副知事／平成25年 参議院議員初当選
平成29年 農林水産大臣政務官／令和元年 参議院議員2期目／令和2年 農林水産委員長／令和5年 経済産業副大臣
令和6年11月～ 党農林部会長／令和7年7月 参議院議員3期目

令和7年9月発行 討議資料

